

## 会長就任のあいさつ

妹尾 大（せのお だい）  
東京工業大学

このたび木嶋恭一前会長の後任として、経営情報学会の会長を務めさせていただき妹尾大でございます。本学会が会員にとってさらに魅力的な存在になるよう、未熟者ながら頑張っております。

簡単な自己紹介をさせていただきます。令和元年の今年で50歳を迎えた1969年生まれの研究者です。学部と大学院時代は一橋大学で組織論を学び、その後、北陸先端科学技術大学院大学で助手を務めた後、現所属の東京工業大学に移りました。これまで、組織の知識創造行動に注目した研究を一貫して続けてきております。

本学会には2002年に入会し、学会社会化委員、総務委員等を経験してきました。なかでも思い出深いイベントは、本学会が任意団体から一般社団法人に移行した2011年の法人化と、本学会がホストした国際カンファレンスPACIS2018横浜です。

さて、経営情報学会が、経営情報学の確立と産業の発展に寄与する学会であり続けるために取り組むべき課題はいったい何でしょうか。私の現時点での分析は以下の通りです。まず時代背景として着眼しているのは、米中2強時代の到来、およびAI人材の供給不足です。そして問題意識として抱いているのは、日本の新市場創造の出遅れ、および学会の高齢化です。

これら2つの背景と2つの問題意識をかけあわせ



て、本学会の4つの戦略目標案をたてています。

1. 国際学会でユニークな存在感を発揮する
2. 産学協力で高質データを収集する
3. 文理横断のパイオニア型研究者を育成する
4. 関連諸学会と連携して新規会員を勧誘する

これらの案が妥当かどうか、具体的なアクションには何があり、優先順位をどうつけるかについて、会員の皆様と対話しながら進めていくことが肝要だと感じております。上記案の詳細を説明し、会員の皆様からご意見を頂戴するための対話の場を設けます。積極的なご参加をお願い申し上げます。